

1. 目的

新型コロナウイルス感染症拡大に起因する学生生活や修学環境の変化により、経済的に困窮した学生等を支援する大学等に対し、当該支援に係る経費の一部又は全部の額を助成することで、各大学等が独自に学生等に対し支援を実施することを促進する。

2. 概要

(1) 助成規模 20億円

【主な寄附者】

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ様、日本中央競馬会様、T&D保険グループ様、株式会社マイナビ様、キューピー株式会社様、株式会社STORIA様 その他多くの企業や個人の皆様方より御寄附をいただきました。

(2) 実施時期

2020年9月～2021年2月

(3) 対象の学校種別

大学、大学院、短期大学、高等専門学校（4・5年生）、専修学校専門課程、日本語教育機関、外国大学日本校

(4) 対象事業

各大学等が実施する、経済的に困窮していると認めた学生等に対し、以下のメニューに沿った経費を支援する事業

- ①遠隔授業を受けるための通信費 ②学生生活を送るための食費 ③修学のための教材（参考図書など）購入費
④一時的な帰省または帰省先から戻るための交通費 ⑤その他新型コロナウイルス感染症対策として支援する①から④に類する経費

(5) 助成額

第一種奨学金貸与実績等に応じて、1校あたり20万円～120万円の上限額を設定

(6) 学校から学生への助成方法

金銭又はこれに類するものによる給付

（本助成金による1人あたりの支援額上限は10万円。ただし、大学等が独自の財源等から支出額を加算して1人あたり10万円以上の支援を行うことを妨げない）

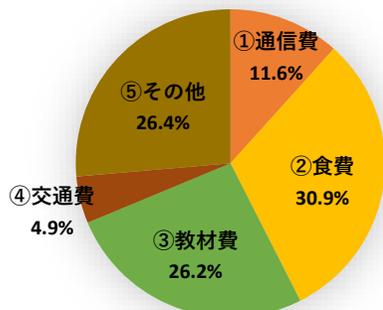
3. 支給実績

対象となる学校4,419校のうち、約78%にあたる3,450校からの申請を受付。

助成金による学生等への支給実績は **約16.3億円**（参考）学校からの申請額計：約16.6億円

4. 実施結果

(1) 支援内容別割合（複数回答）



①通信費	530校	11.6%	②食費	1,406校	30.9%
③教材費	1,190校	26.2%	④交通費	224校	4.9%
⑤その他	1,200校	26.4%		のべ4,550校	

(2) 学校における主な取組の例

- ① 遠隔授業を受けるための経費
オンライン授業に必要なパソコン等の機器購入やネット環境の整備費用
- ② 学生生活を送るための食費
学校の食堂や生協の売店で利用できるチケットの配付
- ③ 修学のための教材（参考図書など）の購入費
参考書や教材購入のための図書カードの配付
- ④ 一時的な帰省または帰省先から戻するための交通費
自宅外から通学する学生の帰省に係る交通費や外国人留学生の帰国（または再入国）に係る交通費
- ⑤ その他新型コロナウイルス感染症対策として支援する①～④に類する経費
PCR検査費用、マスク、消毒液の購入費用

現金、QUOカード、図書カードや学食で食べられるチケットを支給した学校が多く見られた

5. 支援を受けた学生からの声

- ・寄附者の方々のおかげで私たちが救われると改めて感じた。
- ・感謝の気持ちでいっぱい。将来、このように学生たちを支援できる企業で働きたい。
- ・恩返しのため、勉強を一生懸命頑張り卒業を迎えたい。
- ・支援をしていただき私たちは見捨てられていないと精神的な安心感が得られた。
- ・支援をいただき経済的にも精神的にも救われる思いがしました。
- ・寄附者の方々へ。すごくありがたいです。勉強真面目にがんばります。心優しさに感動しました。
- ・支援いただいた方々に感謝の手紙を出したい。
- ・新年度から教員として働きます。教員として社会貢献したいです。
- ・私もいつか若者を応援できるような大人になりたい。
- ・コロナの影響でいいことが何もなかったが、支援をいただいたおかげで心が救われた。
- ・成人式のため実家に帰省することができた。皆様のご厚意で帰省できることに感謝。

- ・クリスマスイブに振り込まれました。最高のクリスマスプレゼントになりました。
- ・収入が激減し大学を辞めることを考えていましたが、支援のおかげで何とか続けられそうです。
- ・バイト収入が減り冬服を買うことができなかった。これで暖かい服が買えます。
- ・看護の専門書は高価で購入をためらっていたが、これで買うことができます。
- ・久しぶりにお肉が食べられました。
- ・お昼ご飯がやっと食べられました。
- ・何回も昼食が取れると思うと嬉しい。
- ・学食でおなかいっぱい2回も食べられた。
- ・生活費のためにはもう少し必要。
- ・支援が今後も継続されると嬉しい。

他にもたくさんの感謝の声やご意見をいただきました。